



御田小 研究だより

平成29年7月20日
港区立御田小学校
校長 三浦 和志

第1回研究授業報告

6月29日(木) 5校時 6年

授業者 古屋 博大 染谷 知佳
高田 悠平 六本木 友樹

<算数> 単元名「角柱と円柱の体積の求め方を考えよう」

<単元でねらっていること>

○角柱や円柱の体積の求め方を理解し、計算によって求めることができるようにするとともに、それらの図形についての理解を深められるようにする。

<本時のねらい>

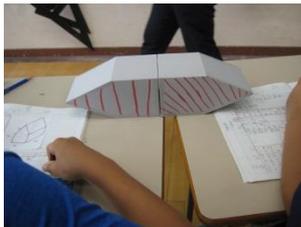
○組み合わせた立体の体積を、角柱とみて、「底面積×高さ」の公式で求められることを理解することができる。

【ユニバーサルデザイン化の視点から】



本時のねらいから授業の山場を決め、「めあて」をコースの児童の実態に合わせて設定し、本時の流れを考えました。(焦点化)

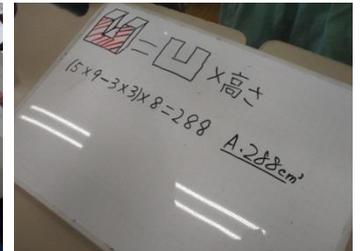
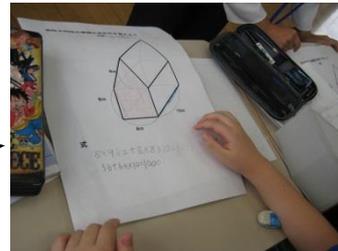
ペアやグループ、全体で自分の考えを発表し合い、比較・検討させることで、体積を求めるための、より簡単な方法を見つけたり、自分の考えを深めたりすることができました。(焦点化・共有化)



立体模型を提示することで、児童が既習の求め方を想起したり、友達に分かりやすく説明したりすることができました。(視覚化)



発表ボードを活用し、色を変えたり、印を付けたりすることで、友達への考えの共通点や相違点に気付くことができました。(視覚化)



<授業を終えて>

習熟度に応じて、自分と友達の考えを比較・検討しながら角柱の体積の求め方を学びました。自分の考えを発表する活動では、組み合わせた立体の体積を角柱とみれば、既習事項を活かして、底面積×高さで求めることができることに気づき、図形についての理解を深めることができました。今後も、お互いの考えを深められるような活動を工夫し、指導していきます。